



浴室はできるだけ自身の力を使えるように壁・面台・浴槽の縁に手摺を配置し、コンパクトで使いやすい動線としています。

床は濡れても滑りづらい十和田石を水勾配無しで使うなど安全性に最大限配慮しています。

肌に良く香りに癒される青森ひばの風呂と、遠赤外線効果で芯まで温まる信楽焼のお風呂を好みに合わせて選んでいただきます。



浴室は裸の付き合いのできるコミュニケーションの場所です。3名位で使えるちょっと広い石風呂は、拘縮のある方の入浴にも適しています。



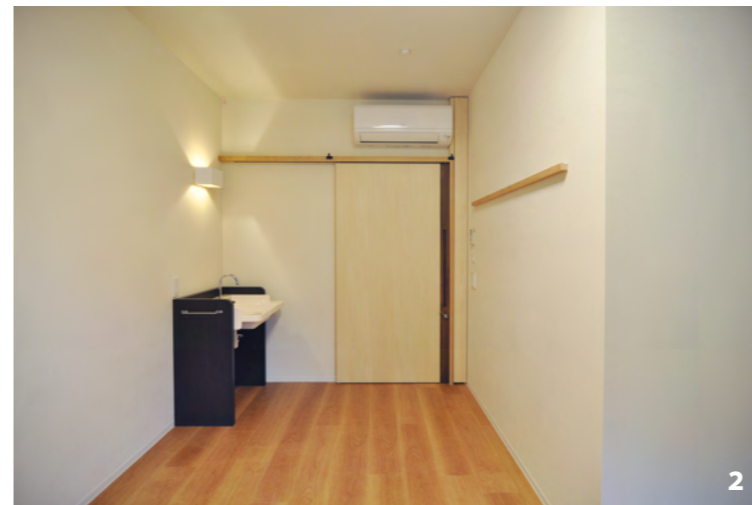
楽しくおしゃべりしながら整容していただけるように、脱衣室を出た所にパウダーコーナーをつくりました。

1 トイレは3種類の手摺を設置し、できるだけ一人でしていただける環境を整えました。人により掴む場所が異なるため、最大限多くの場所が手摺になるようにしています。自分に合った手摺の位置を確かめ、自宅の改修の際に参考にすることもできます。

2 ショートステイの居室は、体格・身体状況に合わせて高さ調整できる洗面台を設置しています。

3 居室の扉は4色の黒板塗装としています。プライバシーに配慮しその人にだけわかるマークを描いたり、みんなでウェルカムメッセージを描くこともできます。

4 ショートステイの食堂は、スタッフ1名でも見守れるよう1つながりの場所に多様な居場所をつくっています。施設では3台の薪ストーブを導入し、障がいのある方に山の手入れ、薪づくりの仕事を生み出します。





- 1 母屋とホールをつなぐ渡り廊下は、日陰で見通し、風通しの良いたまり場です。
- 2 布施屋の縁側は、室内から縁側を経て中庭までをバリアフリーに整備し、誰でも自由に屋内外をできるようにしています。
- 3 cafe ひまわり畑は就労支援B型事業所の作業所です。情報発信、生産物の販売も行います。
- 4 いきいき工房は地域に開放したホールです。見える木材はすべて地元のカラマツ材です。全棟合わせて75%の県産材の木材を使用しています。
- 5 よろず屋は、福祉に限らず様々な地域の困りごとを持ち込んでいただく相談所です。